

図1 パノラマX線写真

右側上顎犬歯と第二小白歯の歯根間に境界明瞭な斑紋状のX線不透過像を認める (⇨)。上顎洞底は病変により挙上している。



図2 デンタルX線写真

第一小白歯は近心に圧迫され、埋伏 (⇨)。第二小白歯の歯根吸収は認めない。

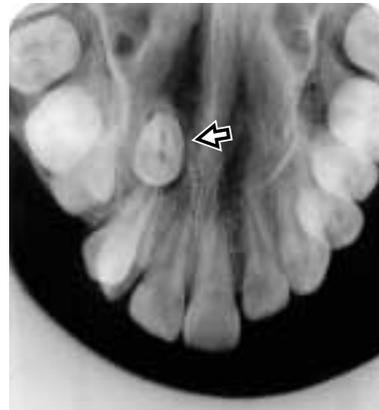


図3 咬合X線写真

第一小白歯は病変に接し、口蓋側に埋伏している (⇨)。



図4 CT画像 (横断像)

斑点状または斑紋状の石灰化像を伴う境界明瞭な病変を認める (➤)。頬側への骨膨隆も認める。



図5 CT画像 (冠状断像)

病変は上顎洞底を上方に圧迫し、鼻腔底に接する (➤)。犬歯の歯根は病変と接し、近心性に傾斜している。